

感染症発生状況

令和7年6月12日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年6月2日（月）～6月6日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 268名 【職員】 14名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 53名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（122名）、咳・鼻水（122名）、下痢・腹痛（13名）、発疹（10名）

疾病別：伝染性紅斑（リンゴ病）（15名）、手足口病（9名）、流行性角結膜炎（5名）

気管支炎・肺炎（3名）

【職員】 症状別：熱（7名）、咳・鼻水（1名）、頭痛（1名）

疾病別：流行性角結膜炎（3名）

例年夏季に流行する手足口病が流行しはじめました。

皆さん手洗い励行してください。

【疾病別の発生状況】

伝染性紅斑（リンゴ病） 盛南地区で増加しました。河北地区、都南地区で減少しました。

手足口病 厨川地区、河北地区で増加しました。

流行性角結膜炎 河北地区で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山地区、都南地区で増加しました。河北地区、盛南地区で減少しました。

【県の状況（5/26～6/1）】

後天性免疫不全症候群の報告が1例ありました。

百日咳が74例報告され、前週を上回り、2018年以降最多となりました。年齢別では10代が38例と最も多くなりました。地域別では県央地域が28例、盛岡市が21例と多くなっています。かぜ様の症状と激しい咳が特徴です。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対し、ワクチンを接種することが推奨されます。手洗いや咳エチケット等の感染予防対策も忘れずに行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）は増加し、定点当たり患者数は2.52人となり、全県的に広く流行しています。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症です。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。しかし、流行時期にはこまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

感染性胃腸炎は増加し、定点当たり患者数は7.07人となりました。集団発生事例は教育保育施設で2件、高齢者施設で1件あり、いずれもノロウイルスによるものでした。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】